

「沖縄県におけるがんに関わっている医師数および緩和ケアに関する調査」に関する要望

緩和ケア部会
部会長 笹良 剛史

審議事項

「沖縄県におけるがんに関わっている医師数に関する調査」が実現可能なように、協議会から、沖縄県、沖縄県医師会に要望して欲しい。

提案趣旨

平成19年6月に閣議決定され、国会に報告された「がん対策推進基本計画」において、緩和ケアに関しては、以下の3つの個別目標が定められている。

- (1) 10年以内に、『すべてのがん診療に携わる医師』が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得すること
- (2) すべての2次医療圏において、5年以内に、緩和ケアの知識及び技能を習得しているがん診療に携わる医師数を増加させること
- (3) すべての2次医療圏において、5年以内に、緩和ケアに関する専門的な知識及び技能を有する緩和ケアチームを設置している拠点病院等がん診療を行っている医療機関を複数箇所整備すること

それを受け、全国各地で戦後最大規模の統一プログラムによる卒後医師研修となる「緩和ケア基本研修会」が開催され、沖縄県においても、当協議会・緩和ケア部会が中心となって、がん拠点病院である琉球大学附属病院、県立中部病院、那覇市立病院、および北部医師会病院が緩和ケア基本研修会を計10回開催した。これまでに県内で250名の医師がこの研修を受講し、厚生労働省からの修了証書を授与された。この緩和ケア基本研修会は、(1) 疼痛、身体症状の緩和、(2) 告知などのコミュニケーション、心の問題の緩和、(3) 地域連携、療養場所の問題の解決、等を学習する2日間の参加型ワークショップ形式の医師対象の研修会であり、多数の参加者から有意義な学習であったとの評価を得ている。

3年目を経過した現在、未受講者数のほうが未だ多い現状であり、更なる努力が必要と考えられている。沖縄県においても、受講修了が必要とされる医師の実数が不明であるため、今年度中に、沖縄県および沖縄県医師会を通じて、全ての医療施設にアンケート調査を行う予定。

具体的提案

- 1 議長名で、沖縄県知事および沖縄県医師会に要望書を提出する
- 2 要望書の内容は、「沖縄県におけるがんに関わっている医師数および緩和ケアに関する調査」を要望するものとする
- 3 具体的なアンケート調査内容は、以下の内容とする

返信用 F A X 番号 : 098 (895) 1497

琉球大学医学部附属病院がんセンター宛て

沖縄県緩和ケア基本研修会未受講者数調査

全診療科の各科の医局長が調査したデータを集計のうえ、病院全体の集計をまとめ、ご送付下さい。

※（がん診療とは診断、検査、手術、抗がん治療、支持療法、緩和ケア，在宅療養を含みます。）

がん診療に日常的に関 わる医師数	がん診療に時に関わる 医師数	がん診療に全く関わら ない医師数	総数

貴院における緩和ケア 基本研修終了者数	緩和ケア基本研修未受 講者数	医師総数

平成 2 2 年 月 日

施設名

ご担当者名（ご所属）

ご連絡先

琉球大学医学部附属病院がんセンター
事務担当：松澤
連絡先：098-895-1368